



日本共産党

Japanese Communist Party

はぎわら陽子 木崎としゆき



議会報告 2020年 新春号

佐倉市議会議員団

昨年、佐倉市も台風・豪雨被害に遭いました。台風15、19、21号と続いた自然災害は、倒木、停電、断水、冠水など、市民生活に甚大な被害をもたらしました。

被災された皆様へ心からお見舞い申し上げます。



問われる市の姿勢

自治体の役割は住民の安心・安全を守ること

21号の豪雨では、市内で多くの冠水被害発生ほかに土砂災害もありました。

被災者に家賃請求

中でも市役所裏手ののり面と、歴博ののり面崩落による被害は、「公有地」による人家への被害で注目されました。この他にも居住不可能や全壊と判断された市民が市営住宅へ入居することになりましたが、「家賃の支払いが必要」と市が請求したことに、大きな驚きと疑問が広がっています。

木崎議員が環境省・国交省へこの実態を直接伝え、国の職員も驚きの表情を隠せませんでした。萩原議員が「災害救助法による仮設住宅とみなせば家賃は無料にできるはず」と質問しましたが、市は国や県の「支援メニュー待ち」で、無料にすると明言しませんでした。

市営住宅に入居せざるを得ない9世帯の被災者に、「家賃を請求することは公平」とする市の姿勢は、被災の状況判断が欠落していると言わざるを得ないものです。共産党市議団の追及の後、被災入居者には家賃不要の通知があったと、喜びの声が届きました。

他市では独自の災害対策支援

市原市では被災世帯に対し民間賃貸住宅の家賃7万円を1年間補償する制度、南房総市では「ひとり親家庭」が罹災しても支援対象にならない場合は、30万円の生活支援金を支給するなど、独自の災害対策支援が広がっています。

激甚指定され、災害救助法の対象となった佐倉市。被災者に寄り添った市政運営とはなにか——が、鋭く問われます。

崩落した市役所裏（上の写真）は、ブルーシートで応急復旧され、本復旧の工事は2月予算に計上されます。

車いすの市民が他市へ避難

佐倉市の避難所は、台風21号豪雨の際、体育館のみとなりました。木崎議員は「車いすなので用が足せず他市の避難所へ行った」市民の実態を紹介。国の避難所運営マニュアルでは、障がい者用のポータブルトイレ設置などがあると、充実を迫りました。



地球温暖化 異常気象！

危機感ある行動計画を

巨大台風が頻繁に関東地方にも上陸する異常気象の原因に地球温暖化があります。

国の施策は再生可能エネルギーの普及には消極的。石炭火力や原子力発電に依存し、国際的に大きな批判を受けています。

国連事務総長は2030年までに温室効果ガス45%削減を呼びかけましたが、日本の削減目標はわずか26%、佐倉市の「温暖化対策実行計画目標」も同様であることが明らかになり、もっと積極的な対策が急がれます。👉 3面もお読みください

資料請求に不誠実な態度

昨年の台風被害の中、首相官邸は組閣に夢中、森田県知事は自宅を視察という災害対応について、政治家のあり方が問われた令和元年でした。

そこで「市長の公用車運行記録を確認したい」という多くの市民の要望があり、木崎議員が質問しました。

運行距離と目的地の計算が合わない！

「市長公用車の運行記録」を資料請求して驚きです。

同じ目的地の日報なのに運行距離が違う。市執行部は「運転手が次の目的地の視察に行ったから…市長のご自宅までの送迎が加算されているから…」などと答弁、また「キッチンとした記録は別にある」とも。「ひらき直った」とは傍聴者の声でした。

勤務日報

実施日	平成30年7月20日	出社時間	7時40分	残業時間	時間	分
顧客名	佐倉市役所	退社時間	17時40分	通勤手段	時間	分

職務内容	毎日共通業務	車両No.	26-68
(上記に該当しない場合、下記に記録)			
時間	行	先	運行前点検(口)にV印
午前	7:45-10:15	市長官邸	口ハンドル 口ブレーキ
午後			口ブレーキ 口バックミラー

勤務日報

実施日	平成30年7月21日	出社時間	7時40分	残業時間	時間	分
顧客名	佐倉市役所	退社時間	17時40分	通勤手段	時間	分

職務内容	毎日共通業務	車両No.	26-68
(上記に該当しない場合、下記に記録)			
時間	行	先	運行前点検(口)にV印
午前	7:45-10:15	市長官邸	口ハンドル 口ブレーキ
午後	13:15-14:15	市長官邸	口ブレーキ 口バックミラー
夜間			口ハンドル 口エンジン(前)

勤務日報

実施日	平成30年7月22日	出社時間	12時40分	残業時間	時間	分
顧客名	佐倉市役所	退社時間	21時4分	通勤手段	時間	分

職務内容	毎日共通業務	車両No.	26-68
(上記に該当しない場合、下記に記録)			
時間	行	先	運行前点検(口)にV印
午前	13:15-14:15	佐倉市役所	口ハンドル 口ブレーキ
午後	17:00-17:30	佐倉市役所	口ブレーキ 口バックミラー
夜間	20:30-21:15	佐倉市役所	口ハンドル 口エンジン(前)
合計			口ブレーキ 口バックミラー
備考	20:30-21:15 佐倉市役所		

実施日	平成30年7月23日	出社時間	7時40分	残業時間	時間	分
顧客名	佐倉市役所	退社時間	17時40分	通勤手段	時間	分

職務内容	毎日共通業務	車両No.	26-68
(上記に該当しない場合、下記に記録)			
時間	行	先	運行前点検(口)にV印
午前	7:45-10:15	佐倉市役所	口ハンドル 口ブレーキ
午後	13:15-14:15	佐倉市役所	口ブレーキ 口バックミラー
夜間	18:15-19:15	佐倉市役所	口ハンドル 口エンジン(前)
合計			口ブレーキ 口バックミラー
備考	20:30-21:15 佐倉市役所		

実施日	平成30年7月24日	出社時間	7時40分	残業時間	時間	分
顧客名	佐倉市役所	退社時間	17時40分	通勤手段	時間	分

職務内容	毎日共通業務	車両No.	26-68
(上記に該当しない場合、下記に記録)			
時間	行	先	運行前点検(口)にV印
午前	7:45-10:15	佐倉市役所	口ハンドル 口ブレーキ
午後	13:15-14:15	佐倉市役所	口ブレーキ 口バックミラー
夜間	18:15-19:15	佐倉市役所	口ハンドル 口エンジン(前)
合計			口ブレーキ 口バックミラー
備考	20:30-21:15 佐倉市役所		

監査委員の指摘も無視か？

平成30年、前市長の時に監査委員会から公用車の運行記録の透明性を指摘され、市は改善を約束しました。

しかし、市長が変わった途端、「記録しているが明らかにしない」に変わってしまいました。西田新市長は、自身の公用車運行記録が詳細に開示されないことへの不満はないのでしょうか？



平和施策後退か？

佐倉市総合計画の作成が行われていますが、市の示した計画案の平和施策の文中から「核兵器廃絶への取り組み」が削除されました。

日本共産党、市民ネットワーク、新社会党、市民オンブズマンひまわり会の議員8名は、連名で「核兵器廃絶の施策を削除せず、加筆することを求める」修正案を提出しましたが、さくら会・公明党・自由民主さくらの議員は受け入れませんでした。

今後12年間の計画です。市民の声で加筆修正を迫りましょう。

日本共産党提出の意見書

市民の当然の願いも理由なく否決

- 被災者生活再建支援法の抜本的改正を求める意見書
- 「土砂災害警戒区域」の指定率引き上げと急傾斜地崩壊対策事業にかかる予算を増額するよう求める意見書
- 消費税を5%に減税するよう求める意見書

日本共産党提案の意見書案は、さくら会・公明党・自由民主さくら等の反対で、いずれも不採択とされました。

公明党提出の「豚コレラ対策・あおり運転対策」、市民ネット提出の「河川整備対策・オスプレイ木更津配備計画撤回」、高橋議員提出の「横断歩道の安全対策」など、他党派でも説得力ある発議案には日本共産党も賛成しました。

反対するなら理由を述べるのが市民への責任

私たち日本共産党市議団は、議会のどんな場面であれ、議論し認識を共有してこそ、市民のための議会活動が果たせると考えています。

訂正

昨年秋季号2面の『黙って働く非正規公務員づくり』の中で「臨時職員は正規職員の4倍の時間外労働」とした記事を訂正します。

正規職員の時間外労働は15万時間で、臨時職員の時間外労働はありません。



マイクロプラスチックによる海洋汚染の問題が深刻です。一刻も早くプラスチックゴミを削減するために、萩原議員は市や市民が取り組みやすい施策を提案しました。

1 レジ袋削減

第一は、レジ袋の削減です。

1枚のレジ袋を作るために原油18.3mlを使い、製造から廃棄までに排出される炭素はCO²に換算して1枚100g[※]になり、年間使用枚数300億枚を超えるレジ袋製造に使う原油輸入量は55万tに及びます。

最後に30万tのゴミとなるレジ袋の処理費用に年間140億円も掛かりますが、これを日本では自治体が税金で処理しています。



プラゴミ分別を見学
(左から2人目は萩原議員)

この矛盾を指摘すると、「市長会などを通じ拡大生産者責任に基づき自治体負担のあり方を見直すよう要望します」と環境部長が答弁。(ヨーロッパでは売った企業が責任を持って製品に付随するゴミを回収処理しています)

来年4月から、全ての小売店でレジ袋の有料化を義務付けるリサイクル法改正を国が予定しているようですが、有料化よりもレジ袋を断って1~2円還元する方がゴミを減らせます。市は買い物袋持参などを市民に呼びかけ、啓発すると答弁しました。

2 再生可能エネルギー活用

第二は太陽光発電など再生可能エネルギー活用への市独自の助成です。

市は、県が行なう助成制度利用の手続きを代行していますが、市独自の補助はありません。独自に上乘せしている自治体は多数あるので、市も検討すべきです。

また、今回の災害では避難所の停電もありました。避難所への太陽光発電と蓄電池の設置を求めたところ、環境省が導入推進事業を発表しているので公共施設への導入を研究しているというばかりです。いち早く取組む姿勢が必要です。

スウェーデンの高校生グレタさんの言葉にあった、「危機感を持つ行動計画」が急がれます。

農業者・小規模事業者への 災害支援充実を

被災=格差拡大では地域経済を守れません

農業者の被害支援には、設備被害額が10分の1以下となるよう、国の支援が拡がりましたが、収穫物への支援は保険利用以外ありません。「もう営農できない」と、落胆する新規就農者の声。

市川市では被災した農家に一律5万円の見舞金を支給しました。心の折れない温かい施策が重要です。

また、小規模事業者持続化補助金(上限50万円)は、経営戦略を作成して添付することや提出方法が電子媒体のみ等、ハードルが高く、日々の経営で精いっぱいの小規模事業者が、申請をあきらめるざるをえない実態もあります。

日本共産党市議団は上限金額の引き上げや、手続きの簡素化を求めました。

前市長の計画引き継ぐ佐倉図書館建て替え

駐車場 90→45台に半減

来館者を1日500人（現在の倍）と見込みながら、駐車台数が現在の90台から45台に半減するのは大問題です。現在の図書館を壊して25台分増やし、70台にしても全く足りません。買い物客にも不便になり、美術館利用者や金比羅フリーマーケット利用者にも影響が及びます。

安全確保は最優先

災害時に地下から安全に避難できるのか。市民の安全確保は最優先です。

避難ルートを確認したと言いますが、平時ではなく水害・地震の発生時にはパニック状態になることを考慮しているのか。ベビーカーや車椅子利用者が、スムーズに避難できるのか。これから災害の確率は高いのです。

建設費は25億円を超過

建設費25億円以上の税金を支出する事業計画に、市民の意見が充分反映されません。

1階は展示スペースやフリースペース、物販や喫茶が入り、肝心の図書館は地下で、子どもの絵本読み聞かせの場所もラセン階段の下です。明るくゆったりとした図書館を望む多くの市民の声が届いていません。

市民が使う図書館を、補助金と引き換えにする責任は誰が負うのでしょうか。

無料法律・生活相談会

1月25日(土)／2月15日(土)

午前10時より ひだまり(京成佐倉駅北口)

弁護士が同席します

地下掘削の費用は8～9千万円との説明がありました。

2140㎡を掘った土は市の保有する土地に運ぶ計画で、運搬費用も掛かります。予定する25億円で賄うために、肝心の図書館の質が悪くなる恐れがあります。

天井が3～3.5メートルと低いのも、建設費を抑えるための設計です。



城下町にふさわしい図書館にするはずでしたが、日本情緒のない外観デザインに

図書館は教育施設ですが、教育長は新町の活性化に寄与することが重要だと答弁。まちの活性化を目的にすることが国の補助金を受ける条件なのです。地元商店からも「これでまちの活性化ができるのか」と、心配の声が出ています。

美術館の地下には、機械式の立派な駐車場がありますが、出入りに時間がかかり、新町の道路が渋滞するので使えません。

ずさんな計画は税金のムダ遣いになります。地下を2000㎡以上掘って作る、危険で無理な図書館建設は見直すべきです。

議会報告会

1月18日(土) 19時より 臼井公民館

1月19日(日) 10時より 志津プラザ

1月19日(日) 14時より 佐倉ミレニアムセンター

